

水や泥をかぶった写真でも、あきらめないでください

水に濡れた写真の応急処置

濡れた写真やフィルムを、そのままにしておくと表面にバクテリアやカビが繁殖して、時間が経つにつれ画像が失われていきます。劣化を少しでも止めるためのポイントはできるだけ **早く乾燥させ** 可能なら **泥を払い、洗う** ことです

乾かす・泥を払う

すぐ水が使えない場合



できるだけ写真を乾燥させてください。アルバムを開いておくと乾燥しやすくなります（洗濯ばさみがあると便利です）。その際、出来るだけ付着した泥等は取り除いておくと良いです。

額入り写真 ▶ 早めに額から出す！

水濡れた額縁入りの写真は、早めに額から出して乾燥させてください。放置すると写真が張り付き取れなくなる場合があります。

洗う

すぐ水が使える場合



ほとんどの写真が水洗いでききれいになる可能性があります。写真の端で絵柄が落ちないか試してから本洗いしてください。中心部の絵柄はより慎重に洗浄します。

大切な絵柄が落ちてしまいそうな場合は水洗いを止め、乾燥後に水拭きや乾拭きで処置します

※インクジェットプリントなど、水洗いに不向きな写真もあります

干す



洗浄後は水をよく切り干して乾かします。



洗浄方法の解説・ビデオはこちらから

富士フィルム(株)『写真でつなげるプロジェクト』被害を受けた写真・アルバムに関する対処法

富士フィルム(株)お客様コミュニケーションセンター
TEL: 050-3786-1711

<http://fujifilm.jp/support/fukkoshien/faq/index.html>

作成 震災アーカイブ <http://www.shinsai-archive.org/>
eメール: info@shinsai-archive.org

参加主体: 陸前高田市思い出の品、(一社)三陸アーカイブ減災センター
東日本大震災 写真洗浄等ボランティア有志
(主に陸前高田市・釜石市の洗浄・返却活動に従事)

平成26.3 ver.2 本書のプリント・コピー・配布・掲示は自由です。状況に合わせてご利用ください。[不許改変]